



近松のまち・あまがさき
尼崎市は
「近松を現代によみがえらせる」を
コンセプトに、
近松にちなんだ催しや活動を
応援しています。



近松門 左衛門



●お問い合わせ

(公財)尼崎市文化振興財団

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通2-7-16

TEL 06-6487-0910 FAX 06-6482-3504

●主催 / (公財)尼崎市文化振興財団・尼崎市

<https://www.archaic.or.jp/>

2023 ▶ 2024

人形浄瑠璃文楽『異士の飛脚』
協力:人形浄瑠璃文楽座
撮影:河原 久雄

※掲載内容については、主催者等の都合により変更となる場合がございます。
詳細については、各主催者にお問い合わせ下さい。

CHIKAMATSU NOW

近松のまち、あまがさき

近松門左衛門と尼崎とのかかわりは、近松が大坂へ移住した頃までさかのぼります。近松は、大坂の舟問屋・尼崎屋吉右衛門宅に滞在しながら、船頭や行商人、旅人たちから全国各地の話を取材して作品を執筆したと伝えられています。

その舟問屋が、尼崎市久々知にある広濟寺を再興した住職の実家であったことから、近松は広濟寺の再興にも尽力し、1716(享保元)年には近松の母親の法要を広濟寺で行うなど、近松と広濟寺との深い縁が育まれていきました。広濟寺に眠る近松の墓は、今なお演劇関係者の訪問が絶えず、近年になってからは近松記念館の開館やモニュメントが設置されるなど、尼崎市全体で近松の貢献を称えています。

近松の里

JR「尼崎」駅より北へ約2キロメートルにある広濟寺、近松の墓、近松記念館、近松公園周辺を「近松の里」と名づけ、歴史と文化がふれあう魅力あるゾーンとして整備をしています。

1 近松公園

近松門左衛門の墓所(広濟寺)に隣接した回遊式日本庭園風の公園です。公園内には、近松門左衛門のブロンズ像があり、数多くの名作を残した近松門左衛門を偲ぶことができます。また、せせらぎや池を中心に園内を散策でき、春先からは満開の梅林や桜が楽しめるため、お花見の人でにぎわいます。

- 所在地/兵庫県尼崎市久々知1-4
- 料金/無料
- 駐車場/無し



2 近松記念館

1975(昭和50)年に開設、2008(平成20)年にリニューアルしました。資料室では、近松の過去帳、愛用の文机、手紙など近松ゆかりの資料約100点を展示しています。

- 所在地/尼崎市久々知1-4-38
- 開館時間/10:00~16:00
- 休館日/水曜日、第2日曜日(8/13~16、12/29~1/7)
- 料金/大人:200円 学生:150円 子ども:100円
障がい者及び介護者1名:無料(障がい者手帳を提示してください)
団体割引あり
- 問い合わせ/TEL.06-6491-7555



3 広濟寺

日蓮宗の寺院で、957(天徳元)年に創建され、1714(正徳4)年に日昌上人によって再興されました。近松門左衛門の墓があることから、近松寺とも呼ばれ親しまれています。

- 所在地/尼崎市久々知1-3-27
- 拝観時間/7:00~18:00
- 問い合わせ/TEL.06-6491-0815



4 近松門左衛門の墓

広濟寺の境内にあり、高さ約48cmほどの緑泥石片岩の自然石で表に近松と妻の戒名が、裏には没年月日が彫られています。1966(昭和41)年、国の史跡に指定されています。



近松の里へのアクセス

〔バス〕 いずれも停留所は阪神バス(尼崎市内線)「近松公園」下車すぐ
JR「尼崎」駅から 北口より阪神バス(尼崎市内線)①「阪急園田」行き、
②「阪急塚口」行き、または「阪急園田」行き乗車
阪急「塚口」駅から 南口より阪神バス(尼崎市内線)②「阪神杭瀬」行き乗車
阪急「園田」駅から 南口より阪神バス(尼崎市内線)①「阪神尼崎」行き乗車
阪神「尼崎」駅から 北口より阪神バス(尼崎市内線)①「阪急園田」行き、
②「阪急園田」行き乗車
〔徒歩〕 JR「塚口」駅から 東口より約15分

1 立待月観月の夕べ again ～美味しい地酒と郷土料理で観月会～

日時 9月2日(土) 13:30~20:00

会場 吉江七曲り通り界限(梵・町屋ギャラリー・福正寺)、JA鯖江北支店駐車場
・福井鉄道福武線「神明」駅より北西へ徒歩20分

主催 近松の里づくり事業推進会議

協賛団体又は後援団体など 立待地区区長会

入場料 1,000円(梵・町屋ギャラリーで行われる立待月観月会のみ)

お問い合わせ 浮山英穂 TEL.0778-51-3376(立待公民館)

近松ゆかりの地を舞台にした「立待月観月の夕べ」。今回は、近松の父が奉仕した吉江藩の面影が残る「吉江七曲り通り」界限。和太鼓&津軽三味線デュオ 宴人コンサートや野点、近松講座の他、地酒と郷土料理を楽しむ観月会が行われます。その後は近松生誕370年に因み、370発の花火が打ち上げられます。



2 近松作品の読書会と講義

日時 毎月2回 第1・第3月曜日 13:00~14:30(通年開催しています)

会場 尼崎市立立花北生涯学習プラザ
・阪急「塚口」駅から北西へ徒歩10分

主催 近松を読む会

受講料 月1,000円 年間12,000円

お問い合わせ 佐藤正子 TEL.06-6421-6075

近松作品を読む同好の士の集まりです。テキストを読みながら大学の先生が解説をしていきます。今年前半(2月~7月)は「兼好法師物見車」を読んでいます。後半(8月~)は「碁盤太平記」の予定です。赤穂浪士討ち入りを題材にしています。会員は22名です。入会は何時でもOKです。お待ちしております。



3 浄光寺寄席 近松・笑ってgo~!!

日時 令和5年9月9日(土)・12月9日(土)

令和6年3月9日(土)

会場 浄光寺

・JR「尼崎」駅より南東へ、阪神「杭瀬」駅より北へいずれも徒歩15分

入場料 1,000円 お問い合わせ 浄光寺 TEL.06-6481-3697

色んなストレスを笑って吹き飛ばしましょう。
皆様のお越しを心よりお待ちしております。

4 第21回尼崎・近松杯 グラウンド・ゴルフ交歓大会

日時 令和5年9月12日(火)9:00~ 荒天時の予備日 令和5年9月26日(火)

会場 ペイコム陸上競技場

・JR「尼崎」駅南出口より徒歩15分

・阪神「尼崎」駅、阪急「塚口」駅から阪神バス、阪急バスで「スポーツセンター」下車すぐ

主催 尼崎グラウンド・ゴルフ協会 共催 尼崎ニュースポーツ連盟

後援 尼崎市、日本GG協会、兵庫県GG協会、尼崎市教育委員会、
尼崎市体育協会

入場料 2,000円 お問い合わせ 松原純二 TEL.080-4565-2211

いつでも・どこでも・だれでも楽しめる生涯スポーツである「グラウンド・ゴルフ」を通じて、近畿地区のグラウンド・ゴルフ愛好者との親睦・交流を深め、生きがいつくり、健康長寿を目指します。



5 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部 2023年度公開講座

近松門左衛門300回忌 一近松研究所講座一

日時 令和5年9月15日、22日、29日、10月6日、13日(すべて金曜日)

会場 園田学園女子大学

・阪急「塚口」駅より南西へ徒歩約10分

・JR「立花」駅・阪急「塚口」駅より阪神バス14系統「園田学園女子大学前」下車すぐ

主催 園田学園女子大学 近松研究所

後援 尼崎市、尼崎市教育委員会 受講料 5,500円

お問い合わせ 園田学園女子大学 近松研究所 TEL.06-6429-9928

園田学園女子大学近松研究所では、近松門左衛門の300回忌にあたり、ゲスト講師による「近松を知る」・「近松を学ぶ」・「近松を楽しむ」ための特別連続講座を開催します。(全5回)

6 第26回たちまち近松まつり ～近松は立待地区で生まれて370年～

日時 令和5年9月30日(土)～10月1日(日)

会場 立待公民館

・福井鉄道福武線「神明」駅より北西へ徒歩15分

主催 近松の里づくり事業推進会議 **入場料** 無料

協賛 鯖江市、鯖江市教育委員会、福井新聞社、福井テレビ

後援 福井県

お問い合わせ 浮山英穂 TEL.0778-51-3376(立待公民館)

「さばえ近松文学賞」表彰式。特別審査員は、この秋公開の映画『おしよりん』の原作者、藤岡陽子氏。鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団による「フラメンコで演じる近松の世界」上演、『フラメンコ曾根崎心中』衣裳展。立待地区文化祭他



7 近松資料ミニ展示 ～公演ポスターにみる近松作品の世界～

日時 令和5年9月29日(金)～12月27日(水)まで
平日9:00～20:00 日・祝9:00～17:15

休館日 月曜日(祝日のときは翌日)、10月26日(木)、11月30日(木)、12月5日(火)～12月14日(木)

会場 尼崎市立中央図書館

・阪神「尼崎」駅より南東へ徒歩5分

入場料 無料 **お問い合わせ** 中央図書館 TEL.06-6481-5244

近松門左衛門の人物像や作品、尼崎との関わりなどを明治・大正・昭和時代の貴重な公演ポスターとともに紹介いたします。この機会に図書館で近松作品に親しんでみませんか。

8 第14回尼崎近松賞地域交流将棋大会 ～三世代の文化交流～

日時 令和5年9月30日(土)

会場 尼崎市中小企業センター1階

・阪神「尼崎」駅北東へ徒歩5分

主催 尼崎将棋普及実行委員会

協賛 (一財)尼崎地域振興財団

後援 兵庫県、尼崎市、尼崎市教育委員会

入場料 2,000円

お問い合わせ 藤内(とうない) TEL.090-8829-5646 FAX.06-6445-3181
amashogi88@gmail.com

日本の伝統文化である将棋で「三世代の文化交流」をおこなって頂きご家族の絆を大切に楽しんでいただければ幸いです。(申込みはメール・FAXでお願いします。)

9 現代人形劇『女殺油地獄』公演

日時 令和5年10月7日(土) 14:00～(13:15開演)

会場 鯖江市文化センター

・JR「鯖江」駅より徒歩10分、福鉄「西鯖江」駅よりタクシーで10分

・北陸自動車道鯖江インターより車で5分

主催 鯖江市・鯖江市教育委員会

共催 福井テレビ

入場料 一般1,500円 高校生以下800円

お問い合わせ 鯖江市教育委員会文化課 TEL.0778-53-2257

東洋のシェイクスピアとも称される近松門左衛門の生誕370年を記念し、近松作品の現代人形劇公演を行います。この公演は令和元年度(第74回)の文化庁芸術祭演劇部門(関西の部)で大賞を受賞しており、北陸初公演です。近松が現代に放つサスペンスを、今までにない現代人形劇でお楽しみください。



内容 人形劇団クラルテ「女殺油地獄」

対象 小学5年生以上 ※全席自由

同会場にて10月7日(土)～8日(日)開催のまちなか芸術祭「人形劇フェスタ」もお見逃しなく!

10 近松入門講座 ～近松門左衛門300回忌に際して～

日時 令和5年10月21日(土) 14:00～15:30

会場 尼崎市総合文化センター第1会議室

・阪神「尼崎」駅より北東へ徒歩5分

主催 天野光の古典芸能を愛する会

入場料 2,000円

お問い合わせ 古典芸能案内人 天野光
artcoordinator2@gmail.com

近松門左衛門の人生や偉業について、お話しします。この話を聞けば、近松門左衛門のことをもっと知りたくなり、あなたも近松のことを誰かに話したくなるでしょう。

【定員8名・メールにて事前申込要】



11 大近松300年祭

日時 令和5年10月22日(日) 12:30開演

会場 近松記念館

・阪神バス(尼崎市内線)「近松公園」下車西へ200メートル
・JR「塚口」駅東口より徒歩約15分

主催 近松祭協賛事業実行委員会・広濟寺・近松記念館

共催 (公財)尼崎市文化振興財団・尼崎市

入場料 無料 お問い合わせ 近松記念館 TEL.06-6491-7555

大近松祭は尼崎ゆかりの劇作家、近松門左衛門の遺徳を偲び、その偉業をたたえて、昭和11年から行われている行事です。今年は没後300年という記念の年であり、例年よりも多彩な催しを予定しております。



12 近松記念館駐在所 ～大近松祭当日 近松記念館(資料室) 広濟寺近松墓所の案内ガイド～

日時 令和5年10月22日(日) 10:00～16:00

会場 近松記念館 資料室

・JR「尼崎」駅から阪神バス「近松公園」下車徒歩3分
・JR「塚口」駅から南東へ徒歩15分

主催 近松かたりべ会 近松記念館

入場料 無料 お問い合わせ 浅井啓秀 TEL.090-3031-5532

近松記念館の資料室に展示の「近松門左衛門」ゆかりの品々や広濟寺境内地に眠る近松の墓所(国指定史跡)、近松記念公園等。かたりべ会の会員がご案内します。大近松祭のこの日を機会に一度「ちかまつの里」へお越し下さい。



13 舞踊「近松音頭」 ～近松翁を偲ぶ～

日時 令和5年10月22日(日)

会場 近松記念館

・阪神バス「近松公園」下車すぐ

主催 近松祭協賛事業実行委員会

後援 久々知祭太鼓神興保存会

入場料 無料 お問い合わせ 芝 美佐子 TEL.06-6491-6237

偉大な近松翁を偲んで昭和11年より地元久々知に伝わる近松音頭を子々孫々にまで伝承すべく活動しております。10月に行われる大近松祭の時に披露しております。

14 近松門左衛門作品朗読演劇会 ～朧月世氏脚本『女殺油地獄』etc～

日時 令和5年10月29日(日) 14:00～15:00

会場 星湖舎 月灯りの階

・大阪メトロ「天満橋」駅④から徒歩5分

主催 NPO法人なの絵本 入場料 無料

お問い合わせ 星湖舎 NPO法人なの絵本

TEL.06-6777-3410 nananoehon@gmail.com

朧月世氏の脚本で近松門左衛門作品の『女殺油地獄』をさせていただきます。また、朧月世脚本作品の中からも朗読演劇をお楽しみください。

15 近松300回忌記念近松のお宝初公開& パネルディスカッション ～近松作品の秘められている謎が明かされる～

日時 令和5年11月22日(水) 9:00～17:00

(パネルディスカッションは13:30～)

会場 近松会館

・福井鉄道福武線「鳥羽中」駅より西へ徒歩15分

主催 近松の里づくり事業推進会議

入場料 無料 お問い合わせ 浮山英穂 TEL.0778-51-3376

近松歌舞伎作品『けいせい仏の原』に登場する「くつはき阿弥陀如来」。元禄時代に行方不明になっていましたが、320年ぶりに発見されました。また、近松の伯父にあたる杉森本家から寄贈された刀剣も合わせて展示。歌舞伎役者中村孝太郎やフラメンコダンサー佐藤浩希も参加して近松作品の謎について語り合います。夜は、鯖江市文化センターでフラメンコ公演も予定されています。



16 「月が綺麗ですね」朗読演劇会 ～近松作品と月世の朗読会～

日時 令和5年11月26日(日)

昼の会14:00～15:00 夜の会17:00～18:00

会場 星湖舎 月灯りの階

・大阪メトロ「天満橋」駅④から徒歩5分

主催 nanaアート 入場料 500円

お問い合わせ 星湖舎 nanaアート

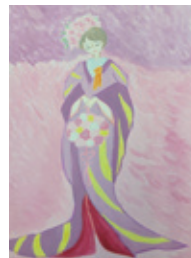
TEL.06-6777-3410

『曾根崎心中』 nananoehon@gmail.com

『夕霧太夫と地獄太夫』

夜の会

朧月世氏 脚本短編集より、
なかともセレクトで2作品を朗読





17 尼崎市第7回「近松賞」受賞作品 青年団プロデュース公演 『馬留徳三郎の一日』

12

作:高山さなえ 演出:平田オリザ 企画制作:青年団／(一社)江原河畔劇場

日時 令和5年12月8日(金)～12月9日(土)

会場 ピッコロシアター 大ホール

・阪急「塚口」駅下車 南出口より徒歩8分
・JR「塚口」駅下車 西出口より徒歩5分

主催 (一社)江原河畔劇場

共催 尼崎市・兵庫県立尼崎青少年創造劇場、(公財)尼崎市文化振興財団

入場料 <全席指定>一般3,000円 25歳以下2,000円 高校生以下1,000円

お問い合わせ 青年団 TEL.03-3469-9107(12:00～20:00)

「近松賞」受賞戯曲を、現代口語演劇の旗手:平田オリザが演出!

山深い小さな集落に住む、馬留徳三郎と妻の下へ、久しぶりに息子から電話があった。仕事のトラブルで、部下が馬留家に訪れるという。何気ない日常が、人間の心をあぶり出す。



©青木司



18 尼崎文楽公演

2024.3

日時 令和6年3月9日(土)

【昼の部】13:30開演 【夜の部】18:00開演

会場 あましんアルカイックホール・オクト

・阪神「尼崎」駅より北東へ徒歩5分

主催 (公財)尼崎市文化振興財団・尼崎市・(公財)文楽協会

後援 文化庁

入場料 各部3,500円 ※未就学児入場不可

お問い合わせ (公財)尼崎市文化振興財団 TEL.06-6487-0910

【昼の部】「義経千本桜」椎の木の段・すしやの段

【夜の部】「桂川連理柵」六角堂の段・帯屋の段・道行籠の桂川

昼・夜の公演とも名作をご用意いたしました。是非、ご覧ください。



義経千本桜 すしやの段 桂川連理柵 帯屋の段

©青木信二

近松ナウとは

尼崎市では、本市にゆかりの深い江戸時代の劇作家「近松門左衛門」を文化振興のシンボルとして、「近松のまち・あまがさき」を目指した文化、教育、産業、環境整備など幅広いまちづくりに取り組んでいます。これらの取り組みの一つとして、近松を現代によみがえらせる「近松ナウ事業」を展開させ、尼崎市ゆかりの人物の功績を市民のみならずとともにシビックプライドの醸成に取り組んでいます。

「近松ナウ事業」は、近松をテーマとしたさまざまな催しをトータルでPRし、より多くの皆さんに鑑賞、ご参加いただく取り組みで、今年で38回を迎えます。

近松門左衛門

本名、杉森信盛。1653(承応2)年に越前国福井藩の家に生まれ、京都へ移住後に人形浄瑠璃の脚本の執筆を始めます。1683(天和3)年に上演した『世継曾我』が評判となり、劇作家として近松の名が世に知られるようになり、1703(元禄16)年に上演した『曾根崎心中』は近松が手掛けた最初の世話物として大流行しました。1706(宝永3)年に大坂へ移住した後も、『冥途の飛脚』(1711、正徳元年)、『国性爺合戦』(1715、正徳5年)、『心中天網島』(1720、享保5年)など次々と話題作を上演しました。

『女殺油地獄』の上演から3年後の1724(享保9)年に亡くなるまで近松は精力的に執筆活動に取り組み、遺された名作の数々は300年近くたった今でもなお高く評価され、演じ継がれています。